

## 情報モラル教育カリキュラム(淀江小・中学校)

学校	学年	月	教材名	教材番号	目標	領域
小 学 校	1年	月				
	2年	月				
	3年	月	うまく伝わったかな？	13	インターネットでのコミュニケーションの特徴やコミュニケーションツールには利点と欠点があることを理解させ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりを持ってやり取りしようとする態度を養う。	a3-1
	4年	月	ネットゲームに夢中になると…	1	ネット依存の入り口の1つであるゲーム依存に着目して、その傾向や問題点を理解させ、日常生活に支障を来さないように、けじめをつけてインターネットを利用する態度を養う。	f3-1
		月	そのページ、確認なくて大丈夫？	3	無料を装って個人情報を取得するウェブサイトやアプリが存在することを理解させることを通して、安全に賢くインターネットを活用しようとする態度を養う。	a3-1 c3-3 d3-1
	5年	月	ひとりよがりの使い方にならないように	7	インターネットは、いつでもどこでも利用できるとは限らないこと、対面ではないコミュニケーションは誤解によるトラブルが生じやすいということを理解させ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりを持って接する態度を養う。	a3-1 e3-2 f3-2
		月	パスワードについて考えよう	11	情報機器の紛失等が個人情報の流出につながるため、パスワードの設定が必要であることを理解させる。また、安易なパスワード設定やパスワードの使い回しによって起こる問題について考え、よいパスワードを設定し、適切に管理することの重要性を理解させることを通して、パスワードを適切に用いて情報機器やインターネットを利用したサービスを利用しようとする態度を養う。	e3-1 e3-2 g3-1 h3-1
		6年	月	軽い気持ちのID交換から…	5	インターネット上で知り合った見知らぬ人と安易にID交換することの危険性や、安易に写真や個人情報を提供することの危険性に気付かせることを通して、安全にインターネットを利用しようとする態度を養う。
	月		SNS への書き込みの影響	9	SNS への不適切な書き込みの問題点と影響を考えることを通して、インターネット上に情報を発信する際の責任を理解させ、インターネットを適切に利用する態度を養う。	a3-1 b3-1 c3-1 c3-2 d3-1

中 学 校	1年	4月	情報モラルアンケート		アンケートを実施しデータを元に実態を把握し、情報モラル指導の教材開発、指導方法に反映させていく。	
		5月	身近にひそむネット依存	4	適切にインターネットと関わるような自己管理のあり方について考え、実践できる態度を養う。	f4-1 f4-2
		7月	大切な情報を守るために	34	セキュリティ対策に関する知識を持ち、対策を行う能力と態度を養う。	c4-2 h4-1
	2年	4月	情報モラルアンケート		アンケートを実施しデータを元に実態を把握し、情報モラル指導の教材開発、指導方法に反映させていく。	
		6月	写真や動画が流出する怖さを知ろう	17	問題の原因や行動について考え、被害者・加害者にならない行動や態度を養う。	c4-1 e4-2
		11月	ネット詐欺に巻き込まれないようにするために	10	ネット上での契約等でトラブルに巻き込まれないための注意点や問題解決について考える。	e4-1 d4-2
	3年	4月	情報モラルアンケート		アンケートを実施しデータを元に実態を把握し、情報モラル指導の教材開発、指導方法に反映させていく。	
		10月	情報の記録性・公開性の重大さ	20	SNS等への投稿に伴う問題や責任について理解し、情報社会における自己の責任や義務について考える。	e2-2 e4-2

		1月	コミュニケーションの 取り方を見直そう。	45	送り手と受け手の間に生じるギャップについて考え、適切かつ思いやりのあるコミュニケーションについて考える。	a3-1 a4-1 i4-1
--	--	----	-------------------------	----	--	----------------------